

藤原ひろき

県政レポート Vol.8 2015年

動!



豊川市の魅力を活かに

昨年は地元豊川高校が第86回選抜高校野球大会への初出場ベスト4入りという素晴らしい成績を収め豊川市が全国的に注目を集めました。一昨年のB-1グランプリ全国大会に引き続き我が地域においても輝かしい年でありました。

しかしながら地方は、少子高齢化、人口減少時代を迎えるにあたり、政府が掲げた地方創生を軸に地域の特性や魅力を活かした、街づくりを展開していかなくてはなりません。本年もこのような諸課題に対し積極的に取り組んでいく決意であります。

本年も皆様にとって明るく笑顔あふれる年となりますよう心からお祈りいたします。

愛知県の課題 (東三河地域)

我が東三河地域は、気候や地理的にも大変住みやすく、多くの可能性を持っています。東三河の人口は約76万6,000人であり全国45位の高知県を超え、製造品出荷額は4兆1391億円と全国25位の愛媛県を上回り、農業産出額では1,568億円と全国21位の兵庫県を超えるほどです。しかし将来を見据えた時には東三河地域のポテンシャルを、最大限に活かす政策の展開が重要です。

そこでまず県下でも遅れている道路網

- ① 国道23号バイパス残り9.1キロ区間
- ② 東三河環状線
- ③ 国道151号一宮バイパス
- ④ 新東名高速道路
- ⑤ 三遠南信自動車道などインフラの整備の促進

産業や安心の側面からは、三河港の機能強化や津波地震対策の推進、三河湾の環境再生が求められます。

県として東三河として各市町村の枠組みを越えた、広域観光の推進、スポーツを活かした地域振興、地域産業の革新など様々な展開が必要です。

一方私たちの住む豊川市を見た場合、「市民の安心・安全、健康・衛生」の確保を考えた時、警察署と保健所の建物はいずれも老朽化が著しいため早期の立て替えが必要となっています。

また、少子化・高齢化が進む中で「子供を産み育てる環境づくり」「退職者、年金生活者の生きがいの場作り」などについても進めていきます。

藤原ひろき政策

政治は、誰がやっても同じではありません!

藤原宏樹

みなさまの声を
ぜひお聞かせください

お問い合わせ

藤原ひろき事務所

事務所の場所が変わりました

〒442-0857 愛知県豊川市八幡町横道93-1
TEL (0533) 56-8338 FAX (0533) 56-8321 E-mail:toyokawa_hiroki@yahoo.co.jp
県議会議員 藤原ひろきオフィシャルウェブサイト <http://fujiwarahiroki.com/>

2014年

9月の
主な活動

巨大災害への備え

平成26年9月 一般質問

質問：南海トラフ地震を見据えた災害対策について

- ① 災害時物流に関する情報収集及び管理体制
- ② 行政側の効果的の災害時物流業務体制
- ③ 災害による想定以上の被災時に物資集積拠点等による十分なる機能を発揮できる体制

大規模災害時において以上の点についての対処方法問い合わせ

答弁：①被災時防災協定に締結した地元建設業者約360社が発災直後に県管理道路約4600kmの巡視し、道路の被災状況を把握し災害対策本部に提案。

②救助物資の受入は愛知県広域受援計画等に基づき県内6箇所に広域物資拠点を開設し、物資の受入、仕分し、各市町村へ配布。
国においては、南海トラフ地震を想定した災害緊急対策活動の防災拠点等の検討中。これに対して民間業者との連携し、被災市町村へ迅速かつ円滑な物資提供できるよう取組む。

③被害予測調査において、長期間に避難生活が及ぶ場合が増えている。
東日本大震災での被害を参考にし、備蓄物資の品目、数量等の見直しを行い必要な物資の備蓄に努めていく。

2014年

9月の
主な活動

消防団を応援

平成26年9月 一般質問

● 消防団の精神：自らの地域は自らが守る

活動／消火活動 + 災害時の住民の避難誘導と救助活動など
存在／地域の要、地域住民の安心・安全確保

● 消防団員の確保：総務省 目標100万人の消防団員の確保

全国平成15年93万人→平成25年87万人

消防団は地域にとってなくてはならない存在であり、まさに地域の要として、地域住民の安心・安全の確保のために果たす役割はますます大きくなっているが、団員の確保には市町村でも大変苦慮しているのが実態であります。そこで以下について一般質問にて取り上げました。

質問：① 平成27年に豊川市での開催が決まった60周年の記念すべき消防操法大会の考え方

- ② 消防団員確保対策の考え方から、愛知県として消防団応援事業所制度の提案
- ③ 若い世代への消防団の加入促進について

答弁：① 60周年の大会は豊川市と連携をし、県としても記念大会と位置づけ予算増に努力する。

② 愛知県消防協会と連携して、県全体としての消防団を応援する制度について検討してまいりたいと考えております。

③ 学園祭などで大学生等に対して消防団のPR活動を実施するほか、大学当局に対して、大学生のみで組織する学生分団の結成について個別に説明を行っていく。

プロフィール

- 昭和52年 豊川市御油町生まれ
- 平成15年 25歳にて豊川市議会議員 最年少当選
- 平成19年 豊川市議会議員2期目当選、生活文教委員会副委員長
- 平成20年 健康福祉委員会委員長
- 平成21年 政治倫理審査委員会委員長
- 平成17年～23年 豊川市消防団

県議会議員として		自民党員として
平成23年	愛知県議会議員 初当選 建設委員会、名古屋競馬組合議員	● 自民党豊川支部 副支部長 (平成23年～) ● 自民党愛知県連青年部 青年部長 (平成24年・25年)
平成24年	農林水産委員会 教育文化・福祉対策特別委員会副委員長	
平成25年	産業労働委員会	
平成26年	地域振興環境委員会 地球環境・総合交通対策特別委員会	

編集
後記

今回の県政レポートは8号の発行となりました。県議 藤原ひろきのこの4年間の議会活動報告をまとめてみました。今後も東三河や豊川の県政を中心に情報をお知らせしていきたいと思います。 byマサヤン

4年間の活動報告

2011年
9月の
主な活動

看護師の確保

平成23年9月 一般質問

安心して受けられる医療体制に向けて看護師の確保

医師及び看護師による医療体制の充実は多数を要する看護師の確保が急務です。しかし23年度は県の計画人員6万9,300人に対して4,200人が不足しています。豊川市の場合、平成25年春移転改築となる市民病院は病床を453床から554床に増やす計画となっているので看護職員の増員確保は「待たなし」の課題です。

このための施策について

- ① 新人看護師の1割弱が1年以内に退職しているため、長く働き続けるための離職防止策について
- ② 結婚・出産による退職した方、いわゆる潜在看護職員は多数見えます。この人たちの職場復帰を支援するための対策について
- ③ 看護職員の養成校である地元宝陵高等学校看護科の増員の効果について



藤原ひろきの質問に対する愛知県の対応

質問要点：医療行政における看護職員の確保について

・看護職員の養成校である地元宝陵高等学校看護科の増員は急ぐ必要がある
今回新聞記事（5月29日東愛知新聞）の要旨は次のとおり

我が豊川市を含む東三河地域は入院患者1人当たりの看護師数（県平均1.1人）が0.9人と少ない。

来年度より県立宝陵高校福祉科に「医療看護進学コース」を新設する。衛生看護科の増員が難しいため福祉科（修業年限3年、定員は40人）を、社会福祉分野へ就職・進学を目指す従来の「社会福祉実践コース」（25人位）と看護大学・専門学校へ進学を目指す「医療看護進学コース」（15人位）の2コースにして、2年生次にコース選択ができる。

これにより「医療・福祉の分野を志す生徒が東三河の地元に多く残ることになり、地域の医療・福祉を支える人材」の確保が図られる。



東愛知新聞 平成24年5月29日（火曜日）号より

質問によって
実現しました



2012年
6月の
主な活動

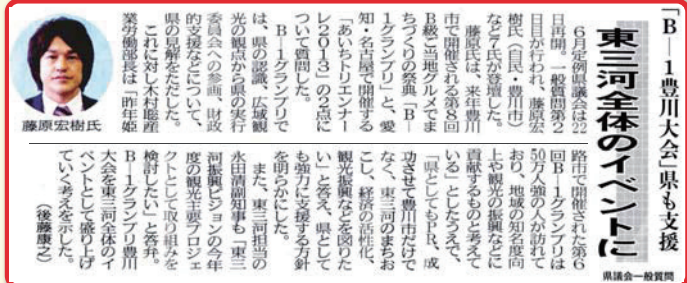
B-1グランプリ豊川大会

平成24年6月 一般質問

B-1グランプリ全国大会 in 豊川大会について

平成25年豊川市開催に対し、18万人の人口都市では対応困難、県の応援が不可欠となります。

- ① 豊川市のB-1グランプリに対する愛知県の認識 ⇨ 回答：東三河のPR、観光客・宿泊客、東三河地方の目玉との認識
- ② B-1グランプリに対し愛知県の具体的な取り組み及び財政的支援 ⇨ 回答：東三河地区の連携・県との連携を推進
- ③ 東三河地域の活性化に向けての県の対応方法 ⇨ 回答：ホームページ他、県より紹介・旅行社会社へPR等を推進



東愛知新聞 平成24年6月23日（土曜日）号より



B-1
豊川大会に
財政的支援を
実現

2012年
12月の
主な活動

介護サービスの向上

平成24年12月 一般質問

介護サービスの質の向上

- ① 公表制度における信頼性確保のため、どのような取り組みがあるのか？
- ② 「よい介護」への認識共有の場として関係団体と連携し実現化の検討をすべきではないか？

藤原ひろきの質問に対する愛知県の対応

- ① 信頼性については指定機関による検査・調査により、受診済証「快適マーク」を12月から全国で初めて発行します。
- ② 事業所における「よい介護」をテーマにした先進的取り組み事例の発表する場の実現を関係諸団体と連携し進めていきます。



平成25年3月
第1回
あいち介護サービス大賞
発表会が実現

2013年
3月の
主な活動

企業誘致等

平成25年3月 議案質疑



- ① 東三河地域における企業誘致の取り組みについて
- ② 再度、B-1グランプリ豊川大会開催に対する県の支援について

2013年
9月の
主な活動

消防団・国道151号

平成25年9月 一般質問

消防団について

消防団は昭和23年結成当時の愛知県は73,500人余の団員が平成24年現在では23,600人にまで減少してしまっている。愛知県は防災を考えた上で団員の確保をどのように考えているのか？県下全体での消防団員の優遇制度を提案。

国道151号について

東三河の発展を推進するにあたって長野～奥三河～豊橋を結ぶ交通路の流れを確保するために一宮バイパスの早期完成は長年の懸案事項である。現在の進捗ではこの先15年以上要すると思われるが愛知県としては今後の進め方をどのように考えているのか？

国道151号一宮バイパス（予算）
平成23年 1億6,000万円

平成25年9月議会にて
4億7,000万円に増額

3億1,000万円の
増額を実現



2014年
2月の
主な活動

農業用水強化

平成26年2月 議案質疑

豊川用水二期事業について

質問：大規模地震対策の進捗状況と今後の見通しについて

答弁：大規模地震対策は平成19年度から平成27年度の工期で、幹線水路の耐震性不足区間1.6km及び渥美半島初立地の耐震補強工事を進め、本年度末で72%の進捗。今後の見通し、主要工事は本年度末で発注済、27年度完了の計画。

質問：大規模地震対策は東日本大震災以前に計画、今回の大震災を踏まえた検討について

答弁：平成19年度当時、固い岩盤の中にあるトンネルは耐震性の問題はなしとされていたが、水資源機構は岩盤内のトンネル区間36kmについても耐震性を検証するため、地質ボーリングなどの基礎的調査を推進中。来年度結論が出る予定。

質問：豊川用水における小水力発電の取組について

答弁：水資源機構は、豊川用水のダム、幹線水路など19ヶ所の候補地を選定・検討した結果、5ヶ所で小水力発電施設を設置する方針。平成27年度から一部発電開始見込み。